

(平成 29 年度分)

<p>団体名</p>	<p>B-NET@SAIDAIJI</p>		
 <p>写真 1</p>	 <p>写真 2</p>		
 <p>写真 3</p>	 <p>写真 4</p>		

【写真1】AED訓練器贈呈式

目的：贈呈式の開催により自地域の自治会、子供たち、女性防災クラブ、社会福祉協議会などの活動地域団体、住民にチームの存在を周知していただくこと。

成果：この後社会福祉協議会主催の各イベントに参加し、平成 30 年度も同様に参加依頼あり。

【写真2】西大寺北小学校「わんぱく広場」主催で「ジュニア防災リーダー教室」を開催

目的：地域活動への参加、貢献で「楽しく救命・楽しく防災」を親子で取り組んで頂く機会を提供。

成果：平成 30 年度は活動名を「親子救命教室」変更し年間 2 回の継続依頼と幼稚園・保育園での活動依頼も追加。

【写真3】NHK奈良放送局の開局 80 周年ファンイベントで京都橘大学救急救命研究会 TURFとの協働。

目的：一つ目に救命のスペシャリストになるため専門的学業に臨む人たちから学ぶこと。二つ目に学生と一般市民、若者とシニアが「救命」というテーマに臨むことで立場、年齢、性別に捕らわれずに活動し周知する意義を体現すること。

成果：あいにくの台風であったが途切れることなく時間を延長して 124 人に実技を実施。自動車学校で学んだばかりで不要だといわれる方に通常のシナリオで行ったがアルゴリズムをできた方は 0 人であった。

【写真4】奈良市伏見自治連合会自主防災会との協同講習会。

目的：自治会長、副会長 45 名を対象に訓練機 8 セットを使用し実施。で胸骨圧迫簡易座学と実技を 1 時間 30 分で展示と、胸骨圧迫と人工呼吸を体験していただき、新規または再受講で救命講習の受講を依頼した。

成果：「やはり忘れてる。年間に数度の受講またはトレーニングが必要」の声が多く聞かれたこと。